

高円寺阿波おどり60周年によせて

NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会

理事長 **久保田 潤一**

(高円寺銀座商店会協同組合 理事長)



昭和32年「高円寺ばか踊り」として産声をあげてから早や60年。現在のような高円寺阿波おどりの活況を一体誰が想像したでしょうか。

始まりは商店街の危機的な状況を打破すべく立ち上がった青年達。自分の店や商店街を守るため何かを仕掛けなければならないという強い気持ちが第1回の高円寺阿波おどりを産み出しました。

そして、その情熱が年を重ねるごとに周辺の商店街を巻き込み、数多の紆余曲折を経て今日に至ります。

60年に渡り、毎回毎回、運営者や踊り手達は次年の為にその年の問題点を抽出し、改善案を練り、翌年に生かす作業を繰り返してきました。周辺住民、商店街、行政、警察、消防から今日のような理解と全面的な協力を得られるようになったのも、これまでの先人達の努力の賜物と思います。

来る東京オリンピック、また70年、100年に向け、我々運営者も踊り手も更なる精進と地道な努力を重ね、阿波おどりにかかわる全ての人々への感謝の気持ちを忘れることなく進むことが今後の高円寺阿波おどり発展の道だと信じます。

阿波おどり60周年おめでとうございます。



高円寺阿波おどり60周年によせて

高円寺阿波おどりの60年

創成期

昭和30年代

昭和32年街おこしの為に「高円寺ばか踊り」を実施。本場徳島との交流を深め、5年の年を経て「高円寺阿波おどり」を立ち上げる。



発展期

昭和40年～50年代

高円寺阿波おどりの演舞場を拡大していくことで益々盛大な祭りへと発展。独立連が次々と誕生し、現在の高円寺阿波おどり連協会の多くの連が出揃うことになる。



充実期

昭和60年代～平成現在に至る

交流事業も始まり、高円寺合同連として全国各地、世界各国へと阿波踊りを披露していく。



国内の軌跡



1957 昭和32年 8/13 高南商盛会(現高円寺パル商店街振興組合)に青年部が誕生。その記念に「高円寺ばか踊り」を実施。



1958 昭和33年 リヤカーにテープレコーダーを積み込んだお囃子が登場。



1962 昭和37年 「東京の阿波おどり」というNHK四国向け放送に出演、NHK霞ヶ関スタジオで木場連と共演。

1971 昭和46年 高円寺阿波おどり前夜祭がはじまる。

1972 昭和47年 国鉄(現JR東日本)高円寺駅主催の「本場阿波おどり観光団」に参加。

1975 昭和50年 地元高円寺の有力15連が「連長会」(現高円寺阿波おどり連協会)を発足。

1977 昭和52年 高円寺阿波踊振興協会(現NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会)設立

1979 昭和54年 ワールドカップ世界体操選手権のアトラクションに出場。

1989 平成元年 10月、横浜港市制百周年記念祭に高円寺より300名が参加。

1991 平成3年 第三回世界陸上選手権大会の閉会式に登場、カール・ルイスなど選手も共に踊る。杉並区が北海道風連町、群馬県吾妻町と友好関係を結び、交流の一環として「風連町白樺まつり」、「吾妻町岩櫃まつり」の出演が始まる。



1993 平成5年 年末恒例の「NHK紅白歌合戦」に50名が参加。

1995 平成7年 阪神淡路大震災が発生。2月に被災者救援のために高円寺駅前にて高円寺阿波おどり連協会所属連がチャリティ阿波おどりを実施。3月、東京商工会議所創立12周年記念祭に参加。10月、世界柔道選手権大会閉会式に参加。



1997 平成9年 読売文化センター(船橋ららぽーと)のカルチャー講座の指導にあたる。

2001 平成13年 モーニング娘 ハローシャッフル 「うたばん」に出演

2004 平成16年 中越大地震が発生。被災者救援のために高円寺駅前にて高円寺阿波おどり連協会所属連が、チャリティ阿波おどりを実施。

2006 平成18年 「高円寺阿波おどり50周年の夕べ」をセシオン杉並にて開催。

90年代に入り、テレビ番組、イベントなど合同出演の依頼が増えてくる。

海外の軌跡



1976 昭和51年 アメリカ建国200年祭の催し物としてサンフランシスコ、ロサンゼルス、ホノルルの3都市から招待を受け、海外公演を成功させる。

1978 昭和53年 11月、フランス・パリにてパラディラタン出演。パリ出演後、ドイツ・ハンブルグ市と交流を行なう。(民族パレード出演)



1982 昭和57年 9月、東京都の国際文化交流事業による民間親善大使節団として、ハワイ最大の祭り「アロハ・ウィーク」に100名参加。

1984 昭和59年 南フランス・ニースのジャパンフェスティバルに80名参加。



1986 昭和61年 イタリア・フィレンツェのジャパンウィークに参加。

1987 昭和62年 オランダ・ユトレヒトのジャパンウィークに85名参加。ジャパンウィークでは欧州各国を回ったが最大規模のジャパンウィークであった。

1988 昭和63年 オーストラリア・シドニーのオペラハウスで開かれた、建国200年祭に86名が参加。

1991 平成3年 サンフランシスコのチェリーブロッサム・フェスティバルに68人参加。

1992 平成4年 中国・北京の日中交流正常化20周年行事に参加。



1994 平成6年 杉並区とオーストラリア・ウィロビー市友好都市提携4周年を記念して高円寺から88名が参加。

1998 平成10年 香港にてJUSCOオープニングセレモニーに高円寺連協会合同連として参加。



2004 平成16年 ギリシャ・アテネ公演 ヘロドスアティコス劇場にて。

2006 平成18年 オーストラリア・ウィロビー市の「スプリングフェスティバル」に出演。



徳島と高円寺



1961 昭和36年 東京深川・木場の徳島県人で組織する「東京踊りの会」の指導を受ける。

1965 昭和40年 阿波おどり留学と称して、本場徳島へ高南商盛会(現高円寺パル商店街振興組合)の幹部有志12人が訪問。

1972 昭和47年 徳島県知事、徳島市長優勝旗が贈られる。

1978 昭和53年 商工会議所100年記念、全国郷土祭に出演。天皇陛下御臨席のもと、徳島と高円寺の合同出演。
※徳島と高円寺の交流が盛んになるきっかけとなった。



1979 昭和54年 「オール高円寺連」約100名が初めて徳島の阿波おどりに参加。

1980 昭和55年 消防100年全国大会が後楽園球場で天皇陛下御臨席のもと行われ、徳島と高円寺の合同出演。

1981 昭和56年 高円寺阿波おどり25周年記念行事として、高円寺阿波おどり連協会主催で本場徳島へバス2台80名が参加。

1986 昭和61年 本場徳島より徳島阿波踊り協会の連長会の14連37名が高円寺阿波おどり30周年を祝して友情出演。
※61年以徳島と姉妹を結ぶ連が一層増えてきた。

平成以降 1990年代より「高円寺連協会合同連」として、毎年徳島阿波おどりに参加。

2011 平成23年 第55回東京高円寺阿波おどりの開会式に徳島市長が列席。この年より徳島市長賞が贈呈される。
※徳島と高円寺の絆は多くの方の努力の積み重ねで年々強くなってきている。



飛躍期

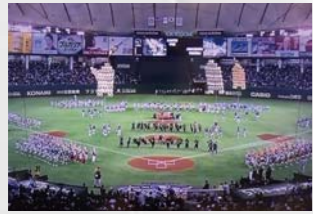
2007 (第51回目)

「太陽の船」出演 東京ドーム
映画「眉山」プレスイベント 徳島合同連と出演



(第52回目) **2008**

MLB 出演 東京ドーム
高円寺連協会合同連
椎名林檎コンサート
さいたまスーパーアリーナ
女踊り90名参加



2009 (第53回目)

ふるさと祭り初出演 東京ドーム
高円寺阿波おどり連協会所属連
250名
「杉並芸術会館 座・高円寺」完成



2010 (第54回目)

銀座阿波おどり
連協会所属連日替わりで出演
第1回 座・高円寺阿波おどり開催
日韓交流おまつり
in Seoul 2010



(第55回目) **2011**

東日本大震災復興阿波おどり
15時～18時開催



2012 (第56回目)

被災地応援イベント
「Take The Town」出演



(第57回目) **2013**

振興事業部発足
新宿阿波おどり開始
香港「2013キャセイパシフィック
旧正月インターナショナル・
ナイト・パレード」



2015 (第59回目)

日本ハムシャウエッセンCM出演
キリンメッツCM出演
東京高円寺阿波おどり台湾公演2015



2016 (第60回目)

熊本義援金
「語る 高円寺阿波おどり」
開催
高円寺阿波おどり連協会
発足40周年記念
サイパン公演

